

～9月の米雇用統計について～

結果概要

米国労働省が11月20日に発表した9月の米雇用統計は、非農業部門雇用者数が前月比+11.9万人と市場予想(同+5.3万人)を上回る結果となりました。また7月の非農業部門雇用者数は同+7.2万人(速報値:同+7.9万人)、8月の非農業部門雇用者数は同▲0.4万人(速報値:同+2.2万人)とそれぞれ速報値から下方修正されました。

業種別では、教育・ヘルスケア業が前月比+5.9万人(前月:同+4.3万人)、娯楽・宿泊業が同+4.7万人(前月:同+3.2万人)、小売業が同+1.4万人(前月:同+0.3万人)とサービス業を中心に増加しました。

失業率は4.4%と市場予想(4.3%)を上回り、前月(4.3%)から上昇しました。

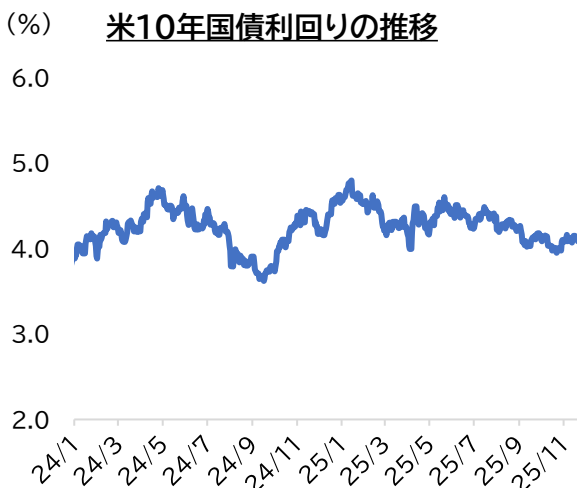
平均時給は前年同月比が+3.8%と市場予想(同+3.7%)を上回った一方で、前月比は+0.2%と市場予想(同+0.3%)を下回りました。なお8月の平均時給は、前年同月比が+3.8%(速報値:同+3.7%)、前月比が+0.4%(速報値:同+0.3%)に上方修正されました。労働参加率は62.4%と市場予想(62.3%)を上回り、前月(62.3%)から上昇しました。

市場反応(11月20日の米国市場)

米国株式市場は揃って下落しました。米雇用統計は強弱入り混じる結果となったことで、株式市場に与える影響は限定的となりました。前日引け後に発表されたエヌビディアの決算内容は好調だったものの、根強いAI株バブル懸念を背景に市場全体に売りが広がったことで、NYダウ平均株価は前日比▲0.84%、S&P500指数は同▲1.56%、ナスダック総合指数は同▲2.15%となりました。

米国債券市場では、米雇用統計の結果を受けて、12月のFOMCにおける利下げ観測がやや強まったことから、10年国債利回りは前日比▲0.08%の4.08%程度で終わりました。

米ドル/円は、雇用統計発表直後にドル売りが先行しましたが、市場予想を上回る雇用者数の増加を背景に急速に買い戻されました。しかし、政府・日銀によるドル売り・円買い介入の警戒感がドル買いを抑制し、前日比31銭円安ドル高の157円47銭で米国時間の取引を終えました。



(期間)2024/1/1～2025/11/20 (出所)Bloomberg

評価及び今後の見通し

9月の米雇用統計は、失業率が市場予想を上回ったほか、平均時給の前月比の伸びが市場予想を下回ったことで、賃金インフレ圧力のピークアウトを示唆する内容となった一方で、非農業部門雇用者数の前月比の伸びが市場予想を大きく上回ったことで、政府閉鎖が始まる前に米労働市場が安定化の兆しを見せていたことを示唆しました。

強弱入り混じる結果から、FRBによる追加利下げ観測がやや強まったものの、依然として市場は、12月のFOMCで政策金利が据え置かれるという見方が優勢になっています。ただし、インフレの根強さとのバランスを取る必要があることから、FOMC内での意見の相違や政策運営の不確実性も意識されています。

今後の株式市場は、短期的には本日11月21日発表の米国購買担当者景気指数、11月25日発表の小売売上高に加え、10月分の米雇用統計等、政府閉鎖によって公表されていなかった主要指標に注目が集まると見込まれます。

今回の雇用統計は、労働市場の底堅さと景気減速感が混在する結果となっており、米金融政策や市場の方向性は今後公表される雇用、インフレ、消費動向のデータに左右される、ボラティリティの高い展開が継続すると見えています。

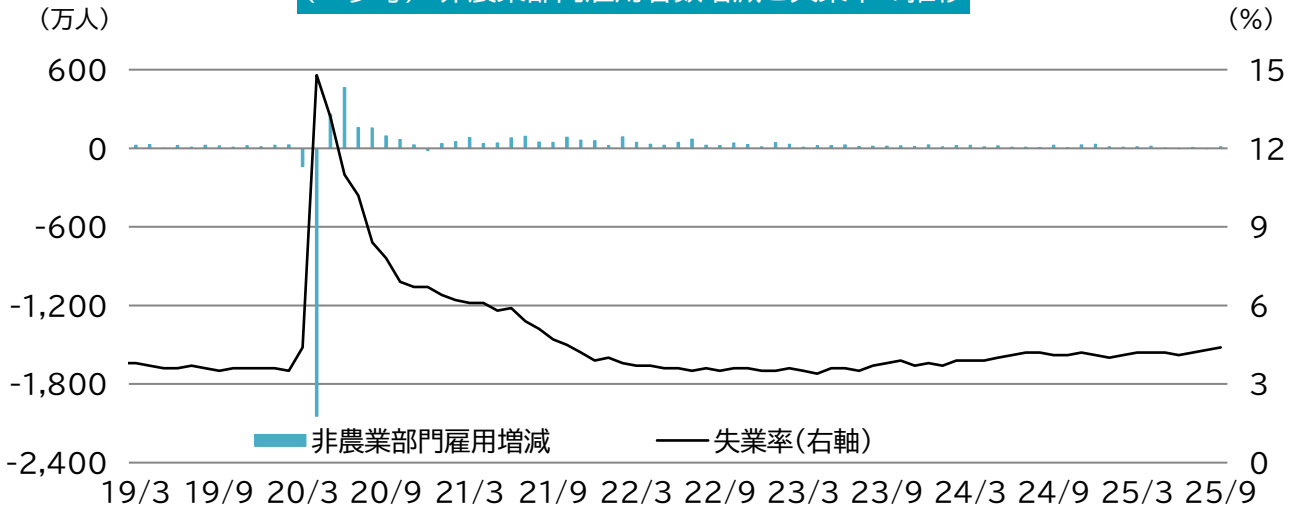
Daily Report(号外)

(ご参考) 主要業種別雇用者数増減(前月比・万人)

出所:米国労働省

	25/4	25/5	25/6	25/7	25/8	25/9
非農業部門	+15.8	+1.9	-1.3	+7.2	-0.4	+11.9
鉱工業部門	+0.2	-1.3	-2.1	-1.6	-3.2	+1.0
建設業	+0.0	+0.2	-0.2	-0.3	-1.4	+1.9
製造業	+0.0	-1.1	-1.7	-0.9	-1.5	-0.6
資源・鉱業	+0.2	-0.4	-0.2	-0.4	-0.3	-0.3
サービス部門	+13.1	+8.2	-0.6	+7.2	+5.0	+8.7
卸売業	+0.1	+0.2	-1.2	-0.4	-0.8	+0.9
小売業	+0.5	-1.5	-0.5	+0.6	+0.3	+1.4
輸送・倉庫業	-0.8	-0.1	+0.4	-0.5	+0.3	-2.5
情報	+0.1	+0.2	-0.3	-0.6	-0.7	+0.0
金融	+0.5	+0.7	-0.6	+0.1	-1.5	+0.5
専門・ビジネスサービス業	+2.7	-2.3	-2.4	-1.3	-1.7	-2.0
人材派遣業	+1.7	-1.5	-1.0	-1.5	-1.0	-1.6
教育・ヘルスケア業	+8.5	+7.0	+5.1	+8.0	+4.3	+5.9
娯楽・宿泊業	+1.8	+2.7	-0.5	+0.9	+3.2	+4.7
その他	-2.0	2.8	0.4	2.0	2.6	1.4
政府部門	+2.5	-5.0	+1.4	+1.6	-2.2	+2.2
失業率(%)	4.2	4.2	4.1	4.2	4.3	4.4
平均時給(前年同月比、%)	3.8	3.8	3.7	3.9	3.8	3.8

(ご参考) 非農業部門雇用者数増減と失業率の推移



(期間)2019年3月~2025年9月 (出所)Bloomberg